

慶應義塾大学学術情報リポジトリ  
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1948
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.21, No.9 (1948. 9)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19480901-0070">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19480901-0070</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## あとがき

原稿が印刷工場に渡されてから刷了となるまでに約五十日の日子を要する現状では、編集方針の刷新を企畫してから約九十日の日子を要するのは止むを得ないことである。そして遂に、一應の新し味を加えた研究雑誌を作り上げることが出来たようである。

前號「あとがき」でお約束した「國際問題の展望」欄も、それ／＼償還すべき資料にもとずいて作成されることが出来たし「民事法ノート」もすでに二號を重ねて、民事法研究「ノート」としての意味を加えることゝなつた。

論説において、峯村教授の「わが國労働立法を貫く理念」についての論攻を得たことは、わが國の再建途上「労働法の在り方」が劃下の問題である折柄、一般の参考に資するところ多少ならずと考えられる。

わが國は戦後、民主主義國家の再建を目ざし、この線にそつて著々法制の改革をすゝめてゐる。これらはすべて政治、法律社會の基本理念につらなる重大な問題をもつてゐる。この際、讀者を以て任ずる程の人々は誰もが、上記の問題に多大の關心を資することはまた當然と云わなければならぬ。わが「法學研究」も、これら讀者一般の要請に應うるところのあることを希求し、努力してゐるのである。

昭和二十三年八月二十五日印刷 第二十一卷  
昭和二十三年九月 一日發行 第九號

定價 三十五圓 (送料別)

東京都港区芝田三丁目二

慶應義塾大學法學研究會

編輯兼 代表者 小 池 隆 一

東京都港区芝田三丁目四町八

印刷者 川 口 芳 太 郎

東京都港区芝田三丁目四町八

印刷所 函書印刷株式会社

半ヶ年豫約購讀料(含送料)二百圓  
一ヶ年 / / 四百圓  
購讀希望の方は左記へ購讀料を添え  
御申込み下さい。

東京都芝居区内三田豊岡町八

慶應通信教育圖書株式会社

總務部金口座 東京一六九五八番

發賣所